

令和 6 年度 清原南小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

人間尊重を基盤に，知・徳・体の調和のとれたたくましい児童の育成を目指し，日本の伝統や文化を大切に，平和な国家の形成者として，21世紀を担う心身ともに健康で心豊かな子供を育成する。

たくましい子	元気に運動し，健康でたくましい心と体をつくる。
思いやりのある子	ルールやマナーを守り，協力して生活する。
よく学ぶ子	基礎・基本を身に付け，進んで学習する。

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

恵まれた自然環境と，148年の長い歴史と伝統を有する本校に勤務することに誇りと責任をもち，子供への愛と同僚との和をもって児童・保護者・地域の方々と共に歩み，自らの資質・能力を高めるとともに自己変革に努め，教育目標達成のために全力を尽くす。

また，先人に感謝しつつ，母校への誇りと自己の尊厳を高めるような教育活動を展開し，持続可能な社会の創り手となる子供たちが「未来を生き抜く人間力」を身に付けるため，知・徳・体のバランスのとれた力の育成に取り組む。そのために，児童・教職員・保護者・地域が連携し，多様な活動を通して地域に開かれた信頼される学校づくりを推進する。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 地域に開かれた地域とともにある学校づくりの推進
- (2) ○成長し続ける基盤となる知・徳・体のバランスのとれた力の育成
- (3) ○新しい時代を生きるために必要な資質・能力の育成
- (4) 児童の様々な状況に対応した指導・支援の充実
- (5) 学び続ける教職員としての資質・能力とチーム力の向上
- (6) 業務の効率化と勤務時間を意識した働き方改革の推進

〔清原地域学校園教育ビジョン〕

自己を見つめ，自己のよさを生かした夢の実現に向けて，主体的に取り組む児童生徒の育成 2nd stage
～人との豊かなかかわりを通して～

4 教育課程編成の方針

- (1) 日本国憲法，教育基本法，学校教育法，同施行規則，新小学校学習指導要領等の法令並びに栃木県教育委員会の方針「とちぎ教育振興ビジョン」，宇都宮市教育委員会の「第2次宇都宮市学校教育推進計画」「第2次宇都宮市学校教育スタンダード」「令和6年度指導の重点」を踏まえて，公教育の立場を堅持し本校の教育目標達成のため，調和と統一ある教育課程を編成する。
- (2) 各教科等の教育内容を相互の関係で捉え，学校の教育目標を踏まえた教科等横断的な視点で，その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列して，それぞれが充実した調和と統一ある教育課程を編成する。
- (3) 「うつのみや学校マネジメントシステム」の結果を受け，本年度の学校教育目標・学校経営の方針を踏まえて，実態に応じた指導が計画的に行われるようにし，PDCAサイクルを確立して改善を図る。
- (4) 「地域とともにある学校づくり」を推進するため，地域協議会との連携により，地域の特性や願いを基に児童に必要な資質・能力を明確にし，地域の人的・物的資源を活用して，社会に開かれた教育課程を編成する。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- (1) 学校経営
 - ・教職員の人権意識の高揚を図り，同僚並びに児童の人権を尊重した職場づくり
 - ・積極的な授業公開，課題解決の糸口を考えた効果的な取組の共有，教職員としての資質・能力向上，学び合う教師集団の育成
 - ・デジタル機器の活用，対話を基にしたOJTと協働体制の推進，業務改善委員会による改善案の取組並びに地域協議会と連携した外部人材の活用による業務の効率化
- (2) 学習指導
 - ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実，「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進
 - ・授業改善の推進及び「宇都宮モデル（はっきり，じっくり，すっきり）」における各過程の指導の充実
 - ・特別支援教育の視点を取り入れた課題提示や学習展開の工夫，根拠を基にした考えを安心して伝え合い，深め

たり広げたりできる教師のコーディネート力の向上

・現代的な諸課題（SDGs，人権教育等）に対応していく資質・能力を育成するため教科横断的な学習の充実

(3) 児童指導

・いじめ・不登校対策の充実を図るため，居がいのある学級づくり，規範意識の醸成，教育相談の充実，課題の早期発見・早期対応への組織的取組の実施

・児童の活躍の場と自らの成長を振り返る場の設定，一人一人のよさや努力を励ます指導による自己有用感や自己肯定感の育成

・児童の発想を活かした行事運営や異学年交流活動の推進，自主性や主体性の育成，リーダーシップ及びフォロワーシップの醸成

(4) 健康（体力・保健・食育・安全）

・運動量を確保した授業や児童の体力に応じた補強運動，業間遊び，教育活動全体を通して運動の機会を創出した体力向上の推進

・自己の健康課題を把握し，生活習慣の改善や健康の保持増進に努めることができるよう，家庭と連携した健康管理能力の育成

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標（小・中学校共通，地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には，A拡充 B継続 C縮小・廃止，を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
1ー(1) 確かな学力を育む教育の推進	A1 児童は，他者と協力したり，必要な情報を集めたりして考えるなど，主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は，友達と話し合ったり，必要な情報を集めたりしながらじっくり考え，進んで学習に取り組んでいる。」 児童肯定的回答 85%以上	・1人1台端末を積極的に活用し，個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させられるように努める。 ・学習課題や解決への見通しをはっきりさせるめあてを提示し，児童が主体的に学習に取り組める授業を実践する。 ・話合いの時間を確保する他に，学習形態の工夫をすることで，協働的に課題解決に取り組めるようにする。		【達成状況】 【次年度の方針】
1ー(2) 豊かな心を育む教育の推進	A2 児童は，思いやりの心をもっている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は，誰に対しても，思いやりの心をもって優しく接している。」 児童肯定的回答 85%以上	・道徳的価値を自分との関わりの中から捉えられるような道徳の授業を実践し，生命を尊重する心や人を思いやる心の涵養を図る。また，「ふわふわ言葉，ちくちく言葉」を考え，相手目線に立った言葉遣いができるように指導し，円滑な人間関係の構築を図る。 ・人権週間の心ぽかぽか運動で，各クラスからメッセージカードを集めて，各クラスに掲示することで，児童の自己有用感や肯定感を高められるようにする。 ・児童同士の呼び方について，さんをつけて呼ぶよう通年で指導する。 ・読み聞かせボランティアだけでなく，教職員による読み聞かせも行い，本とのふれあいをさらに充実させる。併せて，読書啓発活動やファミリー読書を推進し，豊かな心を育む。		【達成状況】 【次年度の方針】

	A 3 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 全体アンケートの「私は、夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。」 児童肯定的回答 80%以上	・本時のめあてを明示し、課題に対して見通しをもたせ、解決に向けて粘り強く取り組むことができる授業を展開できるよう工夫する。 ・発達段階に合った振り返りカードを利用し、授業で振り返りの時間を設けることで自主性を育みながら目標達成に向けて取り組み、成就感が味わえるようにする。 ・各種集会や帰りの会等で互いのよさや努力を認め、称賛できる機会を積極的に設け、児童の自己肯定感を高める。	【達成状況】 【次年度の方針】
1ー(3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	A 4 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、健康や安全に気を付けて生活をしている。」 児童肯定的回答 90%以上	・感染症対策への取組を継続しながら、教育活動に取り組む。 ・自分の身は自分で守る意識を高め、適切な判断力と行動力を身に付けるため、交通安全・生活安全・災害安全について、避難訓練や交通安全教室等を計画的に実施する。 ・登下校については、一斉下校時の時間を活用して、交通ルールや安全な登校の確認を行う。 ・各学年で決めた生活目標と関連を図りながら学校の決まりや安全な過ごし方を定期的に確認し振り返る場を設け、けがのない安全な生活についての意識付けを図る。 ・家庭と連携を図り、バランスのとれた食事や望ましい食生活の醸成を図る。 ・おにぎりの日やお弁当の日を実施する。	【達成状況】 【次年度の方針】
1ー(4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進	A 5 児童は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、自分のよさや考えを生かしたり、周りと協力したりして生活をよりよくしようとしている。」 児童肯定的回答 80%以上	・全職員でキャリア・パスポートの考え方について共通理解を図り、同一歩調で取り組むことを通して、学習の様子や活動の振り返りを積み重ね、自己理解を深めたり、将来の夢や希望を描いたり、実現に向けて努力したりする態度を育成していく。 ・「私の夢」は継続して掲示し、お互いに励まし合える環境を醸成する。	【達成状況】 【次年度の方針】
2ー(1) グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進	A 6 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、外国語活動の授業やA L Tとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている。」 児童肯定的回答 90%以上	・積極的なA L Tの活用を進め、児童の生きた英語に触れる機会を充実させるとともに、一人一台端末を活用しながら、英語によるやり取りを中心とした活動を工夫することで、英語に慣れ親しみ、進んで英語を使おうとする態度を養う。 ・中学年のローマ字学習や高学年の外国語で、簡単な語句や基本的な表現を書く活動を積極的に取り入れ、英語を使って表現しようとする意欲を高める	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 7 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 全体アンケートの「私は、宇都宮の良さを知っている。」 児童肯定的回答 80%以上	・生活科や社会科、総合的な学習の時間の「宇都宮学」、道徳の地域教材を通して宇都宮のよさへの理解を深め、郷土への愛情と誇りの醸成に努める。 ・各教科・領域において地域の教育資源や資料等を活用し、今後も積極的に地域と連携して活動ができるようにしていく。	【達成状況】 【次年度の方針】

2- (2) 情報社会と 科学技術の 進展に対応 した教育の 推進	A 8 児童は、デジタル機器 や図書等を学習に活用し ている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、 デジタル機器や図書等を学習 に活用している。」 児童肯定的回答 85%以上 保護者肯定的回答 75%以上	・教職員が ICT 機器を効果的に活用で きるよう、校内研修等を充実させるこ とと、児童が ICT 機器に適切に活用で きるような授業改善に、引き続き取り 組む。 ・学校図書館司書業務との連携を密 に取りながら、計画的な学校図書館の 活用と図書資料の充実を図る。 ・児童が情報化社会に主体的に参画 できるように、デジタルシティズンシ ップ教育を意識した指導に努めてい く。 ・1人1台端末や学校図書館を活用し た学習の様子や、活動している様子 を、各種たよりやホームページで積極 的に発信し、啓発を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
2- (3) 持続可能な 社会の実現 に向けた担 い手を育む 教育の推進	A 9 児童は、「持続可能な社 会」について、関心をも っている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、 『持続可能な社会』について、 関心をもっている。」 児童肯定的回答 80%以上	・命やものを大切にする意識を育み 児童の「持続可能な社会」への実践力 を養えるよう、各教科・領域の年間指 導計画に確実に位置付ける。 ・各委員会活動の取組や各学級での 一般ごみや給食の際に出るごみの分 別など、児童の実体験と結び付けた活 動を行うことで、「持続可能な社会」 に参画しようとする態度を養う。	【達成状況】 【次年度の方針】
3- (1) インクルー シブ教育シ ステムの充 実に向けた 特別支援教 育の推進	A 10 教職員は、特別な支援 を必要とする児童の実態 に応じて、適切な支援を している。 【数値指標】 全体アンケートの「教職員は、 特別な支援を必要とする児童 の実態に応じて、適切な支援 をしている。」 教職員肯定的回答 95%以上	・児童指導主任や特別支援コーディ ネーターを中心に組織的な支援を継 続していく。 ・学年内で日常的に児童指導面での 情報を共有し、児童理解を深める。 ・児童の記録やQ-Uアンケート、ケ ース会議の内容等を活用し、個別最適 な学びが実現できるよう教材研究を 行うことで、分かりやすい授業を展開 する。 ・個別の指導計画を作成し、それに基づ いた指導を継続的に行う。 ・外部の関係機関と連携して支援を 継続する。	【達成状況】 【次年度の方針】
3- (2) いじめ・不 登校対策の 充実	A 11 教職員は、いじめが許 されない行為であることを 指導している。 【数値指標】 全体アンケートの「先生方は、 いじめが許されないことを熱 心に指導してくれる」 児童肯定的回答 90%以上	・「清原南小いじめ防止基本方針」に 基づいていじめ防止のための組織的・ 計画的な取組を推進する。 ・定期的に位置付けられたいじめア ンケートや教育相談を実施し、組織的 にいじめの早期発見・早期対応に努め る。 ・児童会主催による「いじめゼロ集 会」やいじめゼロ宣言、関連する道徳 の授業の実践等を通して、学校のいじ め未然防止の取組を積極的に発信し、 保護者の理解が得られるようにして いく。	【達成状況】 【次年度の方針】
	A 12 教職員は、不登校を生 まない学級経営を行って いる。 【数値指標】 全体アンケートの「教職員は、 不登校を生まないよう、一人 一人の児童を大切に、児童 がともに認め励まし合う学級 経営を行っている。」 教職員肯定的回答 90%以上	・教育活動全体を通して、児童の自己 肯定感を高める場を積極的に設定す る。 ・Q-Uを生かした学級集団の実態 把握と分析を行うとともに、教育相談 の結果を生かした学級経営を行う。 ・外部機関との連携やスクールカウ ンセラー等を活用しながら児童理解 に努めるとともに、保護者と情報を共 有し、共に支援していく関係を構築し ていく。	【達成状況】 【次年度の方針】

3- (3) 外国人児童 生徒等への 適応支援の 充実	A13 学校は、一人一人が大 切にされ、活気があり、 明るくいいきとした雰 囲気である。 【数値指標】 全体アンケートの「児童の悩 みに寄り添い、相談に乗った り問題を解決しようとしたり して児童が楽しく学校生活を 送れるようにしている。」 児童肯定的回答 90%以上 保護者肯定的回答 85%以上	・引き続き行事等の反省を生かし、児 童主体の活動が推進できるよう改善 を図り計画を見直すことにより、児童 がいいきと活動できる工夫をする。 ・教育相談や日常の個別指導などを 継続して行い、よりよい人間関係の構 築に努める。 ・自己の成長や達成感が感じられる ように、活動のめあての確認や振り返 りを通して、自己の成長を自覚できる ようにし、児童の意欲向上に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】
4- (1) 教職員の資 質・能力の 向上	A14 教職員は、分かる授業 や児童にきめ細かな指導 を行い、学力向上を図っ ている。 【数値指標】 全体アンケートの「先生方の 授業は分かりやすく、一人一 人に丁寧に教えてくれる。」 「教職員は、一人一人が理解 できるように教材を工夫する などきめ細かな指導をしてい る。」 児童肯定的回答 90%以上 保護者肯定的回答 80%以上	・一人一台端末などの ICT 機器の効果 的な活用や積極的な授業公開、校内研 修を通じ、授業改善や教員の資質・能 力の向上を図り、「個別最適な学び」と 「協働的な学び」を一体的に充実させ た授業の展開に努める。 ・本時のめあてを明示し、課題に対し て見通しをもたせ、解決に向けて粘り 強く取り組んだり、学習の終末に振り 返しを行うことで、自己の学習状況を 振り返って自分の成長を実感させたり しながら、次時への学習意欲の向上 を図る。 ・児童の学習の様子や活動の様子を、 各種たよりや学校 HP で積極的に発信 し、啓発を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
4- (2) チーム力の 向上	A15 学校に関わる職員全員 がチームとなり、協力し て業務に取り組んでい る。 【数値指標】 全体アンケートの「学校に関 わる職員全員がチームとな り、協力して業務に取り組ん でいる。」 教職員肯定的回答 90%以上	・全職員が学校経営方針や学校課題 を理解し、それぞれの役割を果たしな がら協働的に取り組んだり、ベテラン から若手への教育技術を継承したり することを通して教育目標の達成を 目指す。 ・教育活動全体を通して職員同士が積 極的に関わることで同僚性を発揮し、 互いの持ち味が活かせる「チーム学 校」を構築する。 ・報告・連絡・相談を徹底するととも に、学年主任会や学年会で連携を図り ながら学校全体で情報を共有し、組織 的に対応に当たる。	【達成状況】 【次年度の方針】
4- (3) 学校におけ る働き方改 革の推進	A16 勤務時間を意識して、 業務の効率化に取り組ん でいる。 【数値指標】 全体アンケートの「私は、教 職員の勤務時間を意識して、 業務の効率化に取り組んでい る。」 教職員肯定的回答 75%以上	・リフレッシュデーを月 2 回設定し、 教職員一人一人が勤務時間を意識し、 業務の効率化に努めるとともに、休暇 等を取得しやすい勤務状況を構築す る。 ・校務分掌や学年・学校単位の組織 で、業務の精選を行うとともに、ミラ イムや学習情報システム等のネット ワークソフトウェアを活用し、業務の 軽減や効率化を図る。 ・金曜日課や臨時日課など、日課表等 を工夫して、事務処理や教材研究等の 時間を確保する。	【達成状況】 【次年度の方針】

5- (1) 全市的な学校運営・教育活動の充実	A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、小学生や中学生が交流する活動を行っている。」「学校は、「小中一貫・地域学校園」の取組を行っている。」 教職員肯定的回答 90%以上 児童肯定的回答 80%以上	・清原地域学校園教育ビジョンに基づき、人との豊かな関わりを通して自らを見つめ直し、主体的に取り組む児童生徒の育成を重点として小中一貫教育を実践する。 ・各校の効率的な学校運営を支援するため、学校一人配置職員の連携を密にし、協働体制を継続していく。 ・学校園の研修や情報交換等を通して、清原地域学校園としての基礎学力の向上や基本的生活習慣の向上を図るとともに、実践の様子をホームページや各種たよりで発信、周知に努める。 ・地域学校園の各部会の進捗状況について情報交換をする機会をもつ。	【達成状況】 【次年度の方針】
5- (2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進	A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。」 地域肯定的回答 85%以上	・地域協議会や学校支援ボランティアを中心に地域と学校が目標を共有し、一体となって教育活動や環境整備の充実を図る。 ・地域や企業との関わりを保ち、取組内容や方法を工夫しながら実践するとともに、その活動の様子を学校 HP や各種たよりで発信し、保護者・地域の学校教育への理解と協力を得られるようにする。 ・地域クリーン作戦や感謝の会、見守り立哨指導等の実施や学習ボランティアの活用により、児童の望ましい成長を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
5- (3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進			
6- (1) 安全で快適な学校施設整備の推進	A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 全体アンケートの「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。」 教職員肯定的回答 95%以上 保護者肯定的回答 85%以上	・月に一度の全教職員による安全点検並びに教職員の巡視の機会等を利用した日常的点検を充実させ、危険個所の迅速な対応に努める。 ・危機管理マニュアルを全体で確認し、避難訓練や引渡し訓練等を通して不測の事態への対応に備える。また、児童自らが危険を予測し回避するなど、命を守るための行動力を育成する。	【達成状況】 【次年度の方針】
6- (2) 学校のデジタル化推進	A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができている。 【数値指標】 全体アンケートの「私は、授業や業務の改善にデジタルを積極的に活用している。」 教職員肯定的回答 85%以上	・教職員が、授業で効果的にデジタル機器を活用できるよう、ICT 支援員と連携して普段の学習指導を行うとともに、教職員の技能向上を図る。 ・授業等で児童がデジタル機器に慣れ親しみ、デジタルシチズンシップへの理解を深め、有効に活用できる方法について研修の場を設ける。 ・プログラミング教材を活用し、ICT 支援員と協力を図りながら、プログラミング教育の実践をする。	【達成状況】 【次年度の方針】
小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	B1 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、時と場に応じたあいさつをしている。」 児童肯定的回答 90%以上 地域肯定的回答 85%以上	・児童会が主体となり、全校児童で「あいさつ運動」を継続して実施する。 ・発達段階に応じた挨拶の意義や効果について指導を行い、自発的な挨拶の啓発に努める。	【達成状況】 【次年度の方針】

本 校 の 特色・課 題等	B 2 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 全体アンケートの「児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。」 児童肯定的回答 85%以上	・今年度同様、「清原地域学校園の方針・約束・一日」を基に、日常の指導の充実を図っていく。 ・児童の実態に基づいて設定した「生活目標」の下、全職員の共通理解により同様の指導を行うことで、児童の基本的な生活習慣の確立を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B 3 児童は、家庭学習の習慣を身に付けている。 【数値目標】 全体アンケート「私は、宿題や自主学習をすることが習慣化されている。」 「自分の子供は、宿題や自主学習をすることが習慣化されている。」 児童・保護者肯定的回答 80%以上	・授業参観や個人懇談などの機会に、「清原っ子家庭学習の約束」を話題にし、引き続き保護者と情報を共有し、協力を得ながら家庭学習の啓発を図る。 ・発達段階に応じて自主学習のやり方を教えたり、よい取組を広めたりする等、児童のよさや努力を認めて称賛する機会を積極的に設ける。 ・家庭学習がんばり週間を実施し、家庭と連携を取りながら、家庭学習への意欲付けや習慣化を図る。 ・1人1台端末やA Iドリルを活用し、個に応じた基礎的な知識及び技能の定着を図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B 4 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。 【数値指標】 全体アンケートの「私は、休み時間や放課後などに進んで運動している。」 児童肯定的回答 80%以上	・毎週月曜日は、業間に外へ出て運動し、体を動かすことの楽しさを感じられるようにする。 ・「とち木っ子体力雷ジグ広場」を活用して、楽しみながらさまざまな運動遊びにチャレンジできるようにする。 ・デジタル機器を活用し、模範的な動きを児童に示すことで分かる授業を展開するとともに、運動への意欲付けを図る。	【達成状況】 【次年度の方針】
	B 5 教師の授業力を高めるため、互いに授業を公開し、教師としての資質・能力の向上に努めている。 【数値指標】 全体アンケートの「教職員は、校内研修を通して学び合い、自らの指導に生かしている。」 教職員肯定的回答 90%以上	・今年度の学校課題「主体的・対話的な学習に取り組む児童の育成～ICT等、情報手段を適切に活用した学習活動の充実～」での校内研修や授業研究で得た成果を基に、次年度も、ICT等を活用した授業作りを日々の実践に生かしていく。 ・ブロックや学年内における話合いの場を多くもつことでOJTを活性化し、互いを高め合える学校風土を醸成していく。 ・次年度も継続して、地域学校園と適切に連携を図り研修を推進していく。	【達成状況】 【次年度の方針】

	B 6 本や地域、友達とのふれあいを通して人間関係を深め、心の豊かな児童を育成している。 【数値指標】 全体アンケートの「私は、読み聞かせ・農園活動・校外学習など地域の方とふれあうことは楽しい。」 児童肯定的回答 80%以上	・学校図書館の「学習・情報センター」としての機能を活用することで、本とのふれあいを促進していく。 ・ボランティア、担任、担任以外の教師による読み聞かせを継続し、本とふれあう機会を設ける。 ・体験活動を通して地域の人々や自然とふれあい、地域のよさを理解するとともに、誇りある地域の一員としての自覚を養えるようにしていく。 ・縦割り班活動や学校行事の内容を、児童同士の関わりを大切にした取組になるよう再検討し、思いやりの心や協調性を育む。 ・地域協議会と連携して学習ボランティアの活用を図り、教育活動をより豊かなものにする。	【達成状況】 【次年度の方針】
--	---	--	-------------------------------

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

7 学校関係者評価

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。